

## 「県・市連携文化施設（仮称）運営管理計画（素案）」に関するパブリックコメントへの対応について

| No. | 区分      | 意見の概要   | 県・市の考え方・対応   |
|-----|---------|---|--|
| 1   | 運営組織計画  | 開館から施工業者による保守点検がなされ、常に正常な状態を保とうとしますが、設備器具の劣化、破損、技術革新に伴う設備更新、安全基準の改訂等の対応に「修繕料」で賄える金額では済まなくなります。「舞台吊物設備」のワイヤー交換工事、「照明設備」「音響設備」の劣化による改修工事、技術革新に伴う設備更新工事、安全基準改定に伴う設備更新等が必要になります。これらに対応するための「予算」は高額になり、その「獲得」は至難であります。10年後、単年度で大きく負担するのは困難と思われるので開館当初から積立をする等の予算対応が必要と存じます。（債務負担行為など）財政当局と協議しておくべき事項かと存じます。（参考事例・愛知県長久手市「長久手町文化の家（1998年開館）」） | ご意見のとおり、施設の修繕・改修・更新を計画的に行うことは、施設の機能を維持し、長期的に使用するために、大変重要なことであると考えております。このため、指定管理者には、長期的な視点で施設の維持管理を行うことができる能力を求めるとしております。なお、将来的に必要となる大規模な改修工事、設備更新等に関する財源確保の手法等については、今後、検討してまいります。 |
| 2   | その他     | 諸課題については長く全国の公立文化施設運営の状況を見てきた（公社）全国公立文化施設協会に「アドバイザー制度」がありますのでご相談されては如何でしょうか。「（公社）全国公文協」を通して依頼出来るかと存じます。   | 平成28年度から、（公社）全国公立文化施設協会に登録している「コーディネーター」の助言を受けながら、事業を進めております。今後とも専門家の知見を生かしながら、運営管理の検討を進めてまいります。   |
| 3   | 貸館事業計画  | 開館時間は、原則として9：00～22：00とし、催し物の内容に応じて柔軟な対応で許されるものが望ましいと思う。申請受付時間は、職員の負担軽減も考慮し、9：00～20：00とし、土曜・日曜・祝日は17：00までとすることで如何か。申請を許可する場合は、基本料金（備品使用料は除く）納入後とする。なお、受付は、館全体の運営にも大いに関わる事であり、担当職員の判断に任せる事をせず、技術職員との連携も大事である。   | 貸館事業計画に記載のとおり、様々な利用形態に対応した柔軟な利用規則について、検討してまいります。また、運営主体には各分野の専門性の高いスタッフを配置し、受付時においても十分に連携しながら、利用者へ適切なアドバイス・提案を行える体制を求めてまいります。  |
| 4   | 基本コンセプト | 新しく生まれ変わる文化施設は、県内で唯一誇れるものとなるので、県民、市民が活用しやすい運営を望みます。つまり一地区（秋田市）に偏ることなく誰もが親しめる文化の殿堂であってほしい。   | 基本コンセプトに記載のとおり、新文化施設が県民にとって、文化芸術に親しみ・集い・交流する活気に満ちた広場となるよう、努めてまいります。  |
| 5   | 貸館事業計画  | あまり規則で縛りすぎず自由さがあり、県民、市民の立場にたった使いやすい運営にしていきたい。   | 貸館事業計画に記載のとおり、様々な利用形態に対応した柔軟な利用規則について、検討してまいります。   |
| 6   | 自主事業計画  | 行政（県、市）、アドバイザーとして関連大学、県立美術館、秋田市文化会館、アトリオン、千秋美術館、赤れんが郷土館（ねぶり流し館）、佐竹史料館、県立博物館、県立近代美術館、カダレ、コモッセなど県内全域にわたって年に何回かの連絡会議を開き、芸術文化に関するバランスのとれた調整が必要と思われまます。（各施設との連絡会議の設置）  | 自主事業計画に記載のとおり、新文化施設が周辺の文化施設と連携し、にぎわいを創出しながら、県公立文化施設協議会とも十分な連携を図る仕組みについて検討してまいります。  |
| 7   | 自主事業計画  | 民間のホテル、駐車場、バス会社、タクシー会社、JR等の関連会社と連携した会議も必要です。（関連会社等との連携）   | 県都秋田市の中心市街地のにぎわいづくりに向けた民間事業者との連携を図る仕組みを検討してまいります。  |
| 8   | 運営組織計画  | 県芸術文化協会を中心に各芸術文化団体が参加する運営会議を定期的に実施するべきである。（運営内容等を検討するための運営委員会の実施）   | 自主事業や運営の方向性等について、県民の意見を反映させることは重要ですので、計画に追記させていただきました。   |

## 「県・市連携文化施設（仮称）運営管理計画（素案）」に関するパブリックコメントへの対応について

| No. | 区分      | 意見の概要   | 県・市の考え方・対応   |
|-----|---------|---|--|
| 9   | その他     | 開館前に、先進県の同規模の施設を視察し、最新情報を得て、新文化施設に反映させるべきである。（先進県の施設の視察）  | これまでも先進的な取組を行っている全国の文化施設を調査し、新文化施設の整備に生かしてまいりました。今後とも機会をとらえ、積極的に情報収集に努めてまいります。   |
| 10  | 運営組織計画  | 次世代に活躍する若者達の組織をつくり、伝統文化の伝承や若年時から芸術文化に触れさせる手だてを考えていくべきである。（次世代に活躍する若者の育成）  | 運営組織計画に記載のとおり、若手の育成を視野に入れた運営体制や事業計画について、検討してまいります。   |
| 11  | 自主事業計画  | 県民、市民にとって新文化施設は、憩いの場であり、芸術文化を通じて精神面、心の面で醸成していけるものであってほしい。受け継ぐ次世代にとっても大いに歓迎される施設になることを切に望みます。新文化施設を如何に効果的に活用していくかが重要な課題であります。  | 新文化施設は県の文化の殿堂であるとともに、県都秋田市におけるにぎわいづくりの拠点であり、また、次世代にとっての活躍の場であることを十分に認識しながら、中長期的な視点で事業を実施できるよう、検討してまいります。   |
| 12  | 自主事業計画  | 完成したら県や市の芸術文化協会に加盟している団体に利用希望を取り、選考し、1回ずつステージや施設を無料で使わせ体験させる事が大切です。30年前アトリオンが完成したとき県内の各画壇に無料で1週間貸し出し使わせて貰いました。おかげでその後も気軽に使うようになりました。損して得を取る事です。最初が肝心です。敷居が高い印象ではだめです。自分たちの施設と思って貰うことがまず大切です。新施設は県民が主人公であり県民のものです。   | ご意見の施設のお試し利用については、利用者だけでなく、指定管理者の開館前のトレーニングとしても大変有効であると考えております。来年度、プレ事業や開館記念事業等を計画することとしておりますので、その一環として実施するよう、詳細を検討してまいります。  |
| 13  | 基本コンセプト | 稼働率のパーセントは悪くなくても自主事業の回数と内容が低すぎます。NHK交響楽団のようにクラシックの県内普及のために隔月の年6回ぐらいのチケット回数券を販売し、新施設で定期的に演奏会を開催し日常化してはどうか。NHK交響楽団については調べてください。最初が肝心です。仙台フィルハーモニー管弦楽団や山形交響楽団等のオーケストラのない後進地の秋田ではまずはこれが大事です。県民を刺激し新施設に定期的に足を運ばせる事が大切です。 | 基本コンセプトに記載のとおり、新文化施設は、幅広いジャンルの文化事業を実施することとしており、クラシックの公演についても検討していく必要があると考えております。その詳細については、来年度以降、検討してまいります。一方では、県内の文化団体の発表の場としても重要であり、自主事業が過度になり、県内の団体が利用できないということがないように、配慮する必要があると考えております。 |
| 14  | 運営組織計画  | 会員制で実現したい企画や公演を話し合う企画会議を設定し、広く県民に企画に参加させてはどうか。会員のメンバーは公募とします。   | 自主事業や運営の方向性等について、県民の意見を反映させることは重要ですので、計画に追記させていただきました。   |
| 15  | その他     | 新施設でのチケット販売を県内文化施設と連携し各地の文化会館で購入できるようにすることが郡部の人々には有効です。チケットを買いに事前に秋田に行くのは公演とでは2度手間になってしまい足が遠のきます。また県内のコンビニと提携しコンビニでもチケットが買えるようにして欲しいです。東京のものは買えても地元のものはいらないのはおかしいです。  | チケットの販売については、事業の主催者が行うものでありますが、施設側でも利用者の利便性が向上するよう、工夫してまいります。  |

## 「県・市連携文化施設（仮称）運営管理計画（素案）」に関するパブリックコメントへの対応について

| No. | 区分        | 意見の概要   | 県・市の考え方・対応  |
|-----|-----------|---|---|
| 16  | 広報・PR事業計画 | 秋田は事前のPR不足が多すぎます。後でTVや新聞ではわかっても、もう既に終わっていることが多すぎます。金をかけないで宣伝、PRする方法を考えてください。いくら県等ですばらしい企画を開催してもPRが不足していると誰も来ないしわからない。せっかくの企画も予算も無駄になっています。県民にまず認知してもらおう事です。ネット時代とはいえ高齡化の秋田ではやはりテレビが有効でしょう。  | 広報・PR事業計画に記載のとおり、新文化施設は、「施設のファン獲得に向けた事後を含めた広報の充実」を掲げておりますので、運営に当たっては、様々なメディアを利用するなど、積極的なPRに努めてまいります。  |
| 17  | 自主事業計画    | 横手の県立近代美術館のように新施設の出前事業を各地で開き、そこで県民に関心を持ってもらい、次に秋田の新施設に足を運んで貰い、常連にしていくアイデアも検討してください。展示とステージでは違いますが、出前事業については県立近代美術館に連絡を取ってみてください。何か参考になると思います。   | 自主事業計画に記載のとおり、新文化施設では、誰でも文化芸術を身近に感じられるよう、アーティストとともに「アウトリーチ（出前演奏、出前体験講座）」を行うこととしております。   |
| 18  | その他       | 駐車場は入口が1か所だと広小路が渋滞する可能性があります。2、3か所設け、各入口道路上で各入口からの満空表示があり、スムーズに駐車できることが大切です。アメリカではスーパーなどを作るとそのスーパー専用の道路を1本もうけることが義務づけられています。道路の渋滞回避は重大です。   | 敷地の建物配置上、出入口は一か所のみとなりますが、広小路・中土橋通りへの満空表示の設置など、スムーズな駐車に配慮してまいります。また、出庫の際の駐車場からの動線については、広小路へ抜けるルートと秋田市立中央図書館明德館の脇を抜ける2つのルートがありますので、渋滞回避に向けた誘導に努めてまいります。 |
| 19  | 運営組織計画    | レストランは立地上、秋田の玄関口と迎賓館を兼ね、一定以上の満足度を利用者や県外からの来県者に与えられるよう、向かいの「キャッスルホテル」や「イヤタカ」、「ビューホテル」等の業者を入れることが肝心です。今は美術館でも全国や世界からの来館者に不満のないようレストランは大変充実させています。建築、公演内容、食事はセットの時代です。また地元の市民も毎日コーヒーを飲みます。美しい景色と建築を楽しむため散歩で寄ってくれる施設にしなければいけません。  | レストランは、利用者へのサービスだけでなく、新文化施設の雰囲気づくりにも重要な役割を担うと考えております。指定管理者の公募に向けて、ご意見も踏まえながら、施設と一体となった魅力あるレストランの運営となるよう、詳細について検討してまいります。                              |
| 20  | その他       | 館内の美術品は貴重です。建築と絵画彫刻、グリーン（観葉植物等）はセットです。せっかくの新施設に戦前や古い様式の風景画や人物では建築に合いませんし時代遅れです。もっと現代の今日の様式や表現の作家の作品を展示すべきです。地元の業界からの自由な寄贈のバラバラな展示計画では笑いものになります。世界・全国に通用する作品展示計画が必要です。そのためには展示作品選考委員会を設けることです。選考委員のメンバーは県芸文協にでも依頼し、一定以上の全国的に通用する画壇の会員のプロにするべきです。私もこのメンバーに入りたいと思います。（可能ならば）美術品は一度入ると50年間はあまり変わりません。時代の変化に耐えられる未来志向の建築に調和した現代のモダンな作品が必要です。 | 館内装飾のための美術品については、ご意見も参考にしながら、今後、検討してまいります。  |

## 「県・市連携文化施設（仮称）運営管理計画（素案）」に関するパブリックコメントへの対応について

| No. | 区分     | 意見の概要   | 県・市の考え方・対応   |
|-----|--------|---|--|
| 21  | その他    | 一般県民に向けた説明会や意見交換会も今後開催するべきだと思う。   | これまでに策定した各種計画や設計においては、機会をとらえ説明会などを開催し、貴重なご意見をいただいております。今後も自主事業の企画など運営に関して広く県民の意見を聴くために、開館までの間、ワークショップ等を継続的に開催していくこととしております。なお、新文化施設に対する意見は、随時、受け付けておりますので、県・秋田市へお気軽にお寄せください。                     |
| 22  | その他    | 利用料金等の支払いにQRコード決済の導入も考えてほしい。大金を持ち歩くリスクやその場ですぐ支払うことができるなどの利点も多いので。実際ある自治体では、QRコード決済で市税を納めることができるという実験もしているので、新しいものをどんどん取り入れて注目されるということも今の秋田には必要と感じる。 | 多様な決済方法が普及しつつある現状を踏まえ、キャッシュレス決済の導入の検討について、計画に追記させていただきました。   |
| 23  | その他    | 自主事業等のチケット販売において、転売対策をしっかりとしてほしい。（例：電子チケットの導入、チケットの購入・入場時に本人確認資料の提示を求めるなど）  | 全国的に問題になっている事案でもあり、対応等を検討してまいります。  |
| 24  | その他    | 自主事業はもちろんだが、新施設で行われるイベントに対し、「県民先行」などの優遇をもうけてほしい。やはり県民のために作る施設ということもあり、県内の幅広い地域の人に来てもらうとなれば、そのようなことも必要だと感じる。（チケットに関して）                               | 全国の文化施設の事例等を参考にしながら、今後、検討してまいります。  |
| 25  | 運営組織計画 | サポートスタッフやボランティアスタッフは、どのようなタイミングで募集するのか。（開館半年前とか）また、任期を設けるのか。  | 運営主体が決まった後、ボランティア等の役割を決定し、募集することを考えております。  |
| 26  | その他    | 有名ポップアーティストになってくると、アリーナやスタジアムクラスでの開催も多い。招致やプロモーションに関して県立体育館等の体育館や球場施設の連携も必要になってくると思う。   | 県民会館の閉館中でもにぎわい創出につながるイベントが開催されるよう、コンサートプロモーター等へ県立のスポーツ施設の利用についてアピールしているところです。こうした取組により、新文化施設のキャパシティを超えるコンサート等の相談があった場合には、県立体育館や県立野球場等と連携し対応してまいります。  |
| 27  | その他    | 今はホール（県民会館）がないため、アリーナクラスのイベント（コンサートに限らずファッションショー等のイベント等）を積極的に招致するべきだと思うが、今後どのように展開していくのか。   | 県民会館の閉館中でも質の高い鑑賞機会を県民に提供できるよう、今年度は、県立体育館を会場に多くの若者の集客を見込めるコンサートを開催しており（Akita jam festival(県立体育館)など）、このような取組は来年度も行う予定としております。併せて、県民会館がない期間、県立武道館や県立体育館を会場として利用いただくよう、コンサートプロモーター等に働きかけているところであります。 |
| 28  | その他    | 「意見募集の結果で、計画が変わることがあるのか。」「結果をどのように計画に反映させるつもりか。」と疑問に感じています。どのように反映させるのか、もくろみをお知らせください。  | このパブリックコメントの「県・市の考え方・対応」に記載しているとおりです。  |

## 「県・市連携文化施設（仮称）運営管理計画（素案）」に関するパブリックコメントへの対応について

| No. | 区分     | 意見の概要  | 県・市の考え方・対応  |
|-----|--------|--|---|
| 29  | その他    | 附属駐車場の規模が200台となっているが、高層化して1,000台規模で、一般車両も駐められるようにしていただきたい。   | 景観も含めた施設所在地の状況を考えると、現状の駐車場の規模が適正であると考えており、周辺の徒歩圏内にある駐車場を利用することで、車での来場者の利便性を確保できるものと考えております。   |
| 30  | その他    | 駐車場の有料化は管理運営上必要なこと、考え方に賛成します。  | －   |
| 31  | その他    | 賑わい創出の観点から、レストラン並びに附属駐車場は休館日であっても営業すべきと思料します。  | ご意見の観点も重要と考えておりますので、今後、検討してまいります。   |
| 32  | 貸館事業計画 | 賑わい創出の観点から、休館日は可能な限り少なく、特に例日を定めた毎週の休館日は設けるべきでないと思料します。舞台設備のメンテナンスは休館しなくても可能と推察します。   | ご意見のとおり、にぎわい創出の観点は重要と考えております。今後も全国の類似施設の事例等を参考にしながら、休館日の設定について検討してまいります。  |
| 33  | その他    | 秋田は車社会であり、新文化施設周囲の道路網を整備することが賑わい創出のために必要不可欠と推察します。その観点から、文化施設附属駐車場、芸術文化ゾーン内の施設と道路網整備計画との関連をお知らせいただければ幸いです。   | 現状の秋田市中心市街地の道路網のままでも、新文化施設及び周辺施設の動線を確保できると考えておりますので、現状の道路網に変更はないものであります。  |
| 34  | その他    | 新文化施設開館の後に、秋田市文化会館を解体するそうですが、文化会館は我慢すればまだ使えるという声も聞きます。両方を活用することは考えられませんか。  | 秋田市では、文化会館は大規模改修に多額の経費がかかり、新文化施設開館時には築40年超となることから、県民会館と集約化し、新文化施設として整備することとしております。このことから、機能が重複する市文化会館を存続させることは、財政的な負担が大きいことから、基本的には用途廃止し、民間等での活用がなければ解体する予定であります。 |
| 35  | その他    | 大音量のロックバンド練習室は、躯体を伝搬する音のエネルギーを考えると施設内設置は困難が多いと聞きましたが、設置できますか。加えて駐車場からドラムセット等の搬入動線を考慮してくださるようお願いいたします。他にも楽器や道具を持参して施設を利用する団体も多く、駐車場と搬入ルートについて不都合がないように考慮願います。 | 新文化施設には、防音対策を十分施したバンド練習室を設置することとしております。また、楽器を持参して駐車場からアクセスする利用者也想定しておりますので、楽器の搬入ルートは確保されております。  |
| 36  | その他    | 自動販売機またはレストランのどちらも利用できるように、ロビーにおける喫茶機能を整備していただきたい。簡単な打ち合わせができるテーブル等の配置も必要と思います。  | エントランスロビーは、原則、飲食可能としており、テーブル等の配置についても、今後、検討してまいります。   |
| 37  | 運営組織計画 | 運営管理計画18ページに「専門性の高いスタッフ」「コミュニケーション能力に長けた人材」等とあり賛成です。是非とも実現をお願いすると共に、人材育成計画を提示していただくと県民・市民からの協力も得やすいのではないかと考えます。  | 今後、運営主体が決定した後で十分に協議を行う中で、人材育成について検討し、案をお示ししたいと考えております。  |

## 「県・市連携文化施設（仮称）運営管理計画（素案）」に関するパブリックコメントへの対応について

| No. | 区分     | 意見の概要   | 県・市の考え方・対応   |
|-----|--------|---|--|
| 38  | その他    | 運営管理計画に備品（ピアノ、ハーブシコード、ポジティブオルガン等）について記載されていないが、躯体完成時には搬入しなければならないものです。専門性が高いので、備品選考体制を含め計画に組み込んではどうでしょうか。特に、スタインウェイ、ベーゼンドルファー、ファツィオリ、ベヒシュタインの4大ピアノは数年前からの手配が必要であり、容易に入手できるものではありません。  | 新文化施設は、様々なジャンルで利用する多目的ホールであり、音楽ホールに特化したものではありません。備品計画は、今後、検討いたしますが、アトリオン音楽ホールとの棲み分けを図りながら、利用頻度が高いと思われるピアノを選定してまいります。 |
| 39  | その他    | 14ページに「利用料金の考え方」が示されているので、備品についても考え方に組み入れるべきと思料します。   | 建物の建設と並行して、備品の詳細を整理することとしており、その際に考え方をお示ししたいと考えております。   |
| 40  | 運営組織計画 | アトリオン音楽ホールには、かつて行政に豊富な専門知識をお持ちの方がおられ、備品設置等について適切にリーダーシップを発揮していたようです。現在の行政組織の中には、芸術関係でリーダーシップを発揮できる人材は皆無と聞いているので、それに代わる体制を構築し、リーダーを公表していただきたい。   | この計画を含め、これまでに策定した各種計画の取りまとめに当たり、劇場コンサルタントなど専門家の意見を聴きながら進めてまいりましたが、今後も同様の体制で進めたいと考えております。                             |
| 41  | その他    | 広報あきた1月4日号には「民間による秋田駅周辺の新たなまちづくり」「駅前芝生広場ののんびりと」「中心市街地を芸術文化ゾーンに」「県・市連携文化施設－2021年度中の開館を目指して」「旧県立美術館の活用－せばなるあきた」の各項目が掲げられているが、各所めいめいに考えていたのでは一貫性がなく、無駄や無理が懸念されます。芸術文化ゾーンは、全体を統括する芸術監督あるいはキュレーターのような人材、または組織をもって一貫性を保って進めるべきと思料します。文化施設建設と同時並行で芸術文化ゾーンを考えていくべきであり、行政が率先して早期に組織構築、人材育成に着手されることを望みます。 | 秋田市では、広報あきたの各項目について、中心市街地活性化の観点から、周辺施設や関係者の連携のもと、芸術文化ゾーンの充実に向けて総合的に取り組んでおります。今後とも、まちづくりの方向性を共有しながら、協力して進めてまいります。     |
| 42  | その他    | 2019年1月6日付魁新報社説に「旧県立美術館活用」について記載されている。その運営管理計画については秋田美大に策定を依頼しているが、新文化施設の運営管理計画についても経験を有する組織（県内である必要性は皆無）に依頼すべきと思うが、どのように考えているのか、考え方を旧県立美術館活用と同様に公表していただくことを希望します。  | この計画は、専門的知識、経験を持ち全国の数多くのホールを手がけている劇場コンサルタントの支援のもと、取りまとめることとしております。   |
| 43  | 自主事業計画 | 「市民が愛着を持てる場に」については新文化施設も同様です。隣接する施設が同じ考え方であるならば、お互いの連携が望ましく、県民・市民もそのような考え方に賛同することでしょう。運営管理にも連携を明記してくださるよう希望します。   | 秋田市では、中心市街地活性化基本計画のもと、芸術文化ゾーンの整備・活性化に取り組んでおります。新文化施設も旧県立美術館をはじめ周辺施設と十分に連携を図りながら、運営してまいります。                           |

## 「県・市連携文化施設（仮称）運営管理計画（素案）」に関するパブリックコメントへの対応について

| No. | 区分     | 意見の概要   | 県・市の考え方・対応  |
|-----|--------|---|---|
| 44  | その他    | 演劇やオペラ関係の大道具、美術・生け花関係で使用する陳列台、音楽関係で使用する大型楽器等々は、搬入・搬出に大きな労力（経費も）が必要であることから、施設内で保管することが望ましいと考えられます。しかしながら、特定の団体への便宜供与という観点・管理の難しさ等により、これまでは公共施設から敬遠されております。もちろん新文化施設においても無制限に保管はできないので、ルールを作成し「施設が関与しない備品」として管理することが文化育成手段の1つであります。施設が関与しない備品スペース並びに管理手法について、運営管理計画に加えていただくよう希望します。 | 新文化施設の保管スペースには限りがあり、ご意見にもありますとおり、特定の者への便宜供与に当たることから、現時点では個々人の備品の保管は難しいと考えております。 |
| 45  | その他    | 施設1階にプレイガイドを設置して、ポスター掲示・チラシ配布・チケット販売等ができるようにしていただきたい。チケット販売手数料はプレイガイドの運営費にしてかまわないと思います。   | プレイガイドの設置やチケット販売手数料の取扱については、運営主体となる指定管理者との協議も必要であることから、指定管理者の選定後に十分協議してまいります。   |
| 46  | 収支計画   | 指定管理者制度においては行政からの委託料が運営資金源となりますが、年々減らされていくという嘆きを耳にします。委託料をどのように維持するか、お考えをお知らせください。  | 指定管理料を適正に見積もっていくことが重要と考えておりますので、今後、運営内容や収支の積算を精算してまいります。                        |
| 47  | 貸館事業計画 | 施設の空室情報をネットで公開し、直前の使用申込を可能にしていきたい。掲載情報の更新は少なくとも日に3回は実施していただきたい。   | 新文化施設の空室情報の公開や掲載情報の更新については、運営主体となる指定管理者との協議も必要であることから、指定管理者の選定後に十分協議してまいります。    |
| 48  | その他    | 運営管理計画（案）は、施設竣工前にも公表し、改善点を探り、適切に改訂していくことが望ましいので、是非そのようにお願いしたい。  | この計画は、今年度末までに策定し、公表することとしております。   |
| 49  | その他    | 各文化は県民に知られ、愛されるものでなければならないが、文化を担い育むための人・物・金についての理解は困難であり、担い手の方々の経験や知識は一般常識とかけ離れた面があることは否めません。したがって、運営管理にあたっては、一般常識や予断に惑わされることなく、各文化関係者の意見を聴くように強く希望します。   | 今後も文化関係者等の意見も聴取しながら、事業を進めてまいります。  |

## 「県・市連携文化施設（仮称）運営管理計画（素案）」に関するパブリックコメントへの対応について

| No. | 区分         | 意見の概要  | 県・市の考え方・対応   |
|-----|------------|--|--|
| 50  | 自主事業<br>計画 | <p>この度の、「県・市連携文化施設（仮称）」の運営に関しまして、文化を愛する一市民としてご意見させていただきます。</p> <p>せっかくの巨費を投じた新しい文化施設を、ただ秋田県民・市民の文化活動だけに開放するのはとてももったいないと思います。もちろん、国内一流のアーティストによる秋田公演などで活用されるのはもちろん、各種イベント、全国大会などで活用できる素晴らしい施設になると確信しております。</p> <p>しかし、秋田にはプロの音楽団体はありません。以前、アトリオンが開館時に自主運営楽団として「アトリオン室内管弦楽団」の運営をしていましたが、当初からのコンセプトがひどくて程なくして解散しました。音楽団体は人数を要する為に多額の費用が必要になると、キチンとしたイベント企画能力がないと運営が難しいからです。</p> <p>秋田には音楽を愛する若者や高齢者まで数多く存在します。しかるに、是非ともプロの楽団による『新文化施設』での「定期公演」実現をなんとかこの機会にお願いしたいのです。もちろん、それは秋田に新しいプロの楽団を作れというわけではありません。費用はありません。つまり既存の、優秀な楽団による一流の演奏の定期化。しかも、東北にある優秀な楽団によるもの。これは、今回の見事な新文化施設を作る上でも非常に意義ある事と思います。</p> <p>その実現には、是非とも東北を代表する大規模オーケストラ「仙台フィルハーモニー管弦楽団」の『秋田定期公演』を実現していただきたいです。この「仙台フィルハーモニー管弦楽団」には複数の秋田県出身者が在団しております。山形にも「山形交響楽団」というプロオーケストラが存在しますが、そちらは基本的には秋田にゆかりがある団員はおりませんし、規模の小さいオーケストラなので「仙台フィルハーモニー管弦楽団」に比べてレパートリーも少ないですし魅力はかなり劣ります。</p> <p>秋田の音楽文化を支えるためにも、一流の音楽を秋田の市民に定着させるためにも、是非とも「仙台フィルハーモニー管弦楽団」の秋田定期演奏会の実現を切に希望するものです。かの楽団は、既に”岩手“”福島“において定期公演を実現させておりますのでノウハウもあります。</p> <p>秋田が誇る音楽文化の歴史を更に魅力あるものにするためにも、「仙台フィルハーモニー管弦楽団」の定期公演は、新文化施設の設立意義も含めて、秋田県民の文化向上の一助となるはずと思うのです。</p> <p>全国ツアーの一環で回ってくる音楽事務所の音楽イベントを待っているばかりではなく、秋田に根差して定期的に全国レベルの一流の音楽を市民に提供する公演の実現を是非とも懇願いたします。</p> | <p>県では、今年度から来年度にかけて、県内市町村と連携し、秋田県民歌である「大いなる秋田」をテーマに「仙台フィルハーモニー管弦楽団」を県内4市に派遣するアウトリーチ活動やホールコンサートを実施しております。</p> <p>このような取組を新文化施設の事業でも実施できるように、今後、検討してまいります。</p> |



## 「県・市連携文化施設（仮称）運営管理計画（素案）」に関するパブリックコメントへの対応について

| No. | 区分     | 意見の概要   | 県・市の考え方・対応   |
|-----|--------|---|--|
| 51  | 貸館事業計画 | 県・市文化施設概要は高機能型ホールで2,015席、舞台芸術型ホールも806席を設けることになれば、今まで当地に誘致出来なかった全国規模の大会や学会、それにコンサート、公演などが実現可能になります。それに伴い、県内外からの集客も見込め地域の活性化につながることは喜ばしいことです。一方、小規模イベントを目指す施設利用者にとってはジョイナス（閉館）や秋田市文化会館小ホールは使い勝手のよい施設だと思います。特に秋田市文化会館小ホールには音響反射板設備があり、子どもたちのピアノ発表会や邦楽演奏にも利用されています。客席400を有するホールは講演会、小演劇、日本舞踊、モダンダンス、寄席、研修会、映画会など多目的な役割を果たしており同様の施設は他に見当たらない気がします。ジョイナスが無くなり、何れ秋田市文化会館小ホールも無くなるとすれば、小規模施設利用者にとって大きな問題になりかねません。県と市は利用者が困らないよう策を講ずるべきだと思います。 | 新文化施設には、200席程度の収容が可能な小ホール機能を持つリハーサル室を設けることとしており、小規模な講演会や文化団体の発表会に利用できると考えております。また、806席の舞台芸術型ホールは、1階席のみの利用も可能であり、その際は、500席規模で利用できます。加えて、秋田市内には700席程度の児童会館やアトリオン音楽ホールもあり、このような小規模イベントに対応できるものと考えております。 |
| 52  | 貸館事業計画 | 駐車場が200台というのはホールの規模に対してはかなり少ない。公共の輸送または近隣の駐車場を利用するというのも一つの案だが、重要性の高いイベントほど附属の駐車場が求められる傾向があります。平地の駐車場だけではなく、立体の駐車場の拡張も検討して欲しい。   | 景観を含めた施設所在地の状況を考えると、現状の駐車場の規模が適正であると考えており、周辺の徒歩圏内にある駐車場を利用することで、車での来場者の利便性を確保できるものと考えております。  |
| 53  | 貸館事業計画 | 貸館事業として利用者に時間にゆとりをもって使用していただくのは大事ではあるが、利用時間を緩くすることで昨今問題となっている長時間労働につながるものが心配されます。イベントは繁忙期には入れ替り立ち替わり繰り返されるので施設職員の健康管理も考え、例えば貸出しは1日1団体とするなどの検討も必要ではないか。  | 新文化施設は、できるだけ多くの皆様に利用していただきたいと考えておりますので、1日1団体の利用に限定することは考えておりませんが、それが施設職員の長時間労働につながらないような運営方法や体制を検討してまいります。   |
| 54  | 貸館事業計画 | 会館の維持保全を行うにしても、常にお客様に対して万全を期するためにも、密な点検は必須です。大きなホールほど点検にも時間がかかります。それは会館の設備、各セクション毎に各々専門の業者による点検が必要となるからです。十分に余裕を持った貸館事業を行うにしても、いざ使えないという話になっては本末転倒なので最低限、週一はあくまで点検日としての休館日は検討して欲しい。（なお、受付などのホール点検に関わらない業務は、必ずしもこれに該当しない）  | ホールをはじめ、施設のメンテナンスは重要と考えておりますが、にぎわい創出の観点や他の文化施設の状況等を踏まえ、休館日について検討してまいります。   |
| 55  | 貸館事業計画 | 大きなイベントほど連続利用が必要になるが、原則を一週間程度にしてしまうと県民・市民の利用機会が損なわれる可能性がある。特に春、秋など行事が重なる場合はその可能性が大きいと予想される。連続利用は、原則3日までとし、それ以上についてはその都度イベントの重要度、規模を鑑みて検討して欲しい。  | これまでの県民会館、秋田市文化会館の利用実態や文化団体の意見を踏まえ、今後、検討してまいります。   |
| 56  | 貸館事業計画 | 平地の駐車場については無料を検討して欲しい。附属の立体駐車場は基本有料化の方向で検討して問題無いが、会館のイベントまたは受付申請に来客するなどの場合は無料券を随時発行することを検討して欲しい。基本的には無料で利用できるようにした方が県民・市民のニーズに合っていると考える。  | 受益者負担の原則から、有料化が基本と考えておりますが、貸館利用者などの無料化や割引についても検討してまいります。   |
| 57  | 貸館事業計画 | 県立美術館、にぎわい交流館は、私らの団体もそうですが、利便性に欠け、料金の高さ、一般の方々には活用が出来ないこと。利用の件のご案内は、何度か電話もいただき、長時間に渡り話し合いもいたしております。県民のため、利用する側のためにも、これは素晴らしい、良かったと喜ばれるものでなければならぬと思います。   | 周辺施設の状況を踏まえ、県民の皆様が利用しやすい規則や利用料金となるよう、工夫してまいります。  |

## 「県・市連携文化施設（仮称）運営管理計画（素案）」に関するパブリックコメントへの対応について

| No. | 区分     | 意見の概要  | 県・市の考え方・対応   |
|-----|--------|--|--|
| 58  | 貸館事業計画 | 県民会館、秋田市文化会館の合体。いろいろな面で日程が取れず、公演が出来ない団体が増えてくるものと思われ、危惧してなりません。   | これまでどおり、大・中2つのホールは確保されておりますので、秋田市内の他の文化施設も含めると、十分に対応できるものと考えております。   |
| 59  | その他    | 現在の市文化会館であれば、大ホール、小ホールとすでに2ホール確保できています。それが舞台芸術型ホール1つになる。舞台数が減ということになる。リハーサル室も使えるということであるが、リハーサル室は、あくまでもリハーサル室です。新しくつくるのに、私には後退にしか思われません。 | 秋田市文化会館の小ホールについては、これまで約半数が200人以下で利用されており、新文化施設の2つのリハーサル室がその機能の一部を代替できるものと考えております。このリハーサル室は、それぞれの性格が異なり、音楽利用、演劇・バレエ等利用の大きく2つの利用目的に適した設備を備えており、舞台芸術型ホールと併せて多様な利用ニーズに対応できるものと考えております。 |
| 60  | その他    | 附属駐車場の混雑・渋滞は目に見えている。   | 駐車場については、満空表示や誘導を工夫し、わかりやすくスムーズに駐車できるよう配慮してまいります。また、本施設の駐車可能台数は200台ですので、周辺駐車場の利用が必須となることから、利用しやすい環境づくりに努めてまいります。   |
| 61  | その他    | 県・市連携の県・市両方の施設であれば、管理主体・運営は具体的にどうなるのか。県が優位・優先で市がその次という会館自体に序列が生まれるのでは。   | 新文化施設は、利用者の視点に立ち、県・秋田市合わせて1つの運営主体を選定したいと考えております。また、県・秋田市・運営主体による連絡会議を設置し、県・市が対等な立場で事業展開の責任や文化行政の方向性を共有しながら運営していきたいと考えております。  |
| 62  | その他    | 大きいホールと小さいホールが同時に使用される場合のリハーサルも含め、人の移動に支障が出たり、舞台裏をつとめる人たちが不足するのでは。この同時進行、特に土・日・祝日が心配。それと、土・日・祝日と普段の日の落差が生まれすぎないか。大ホールと小ホールが独立を保てるのか。     | 新文化施設は、リハーサル室を含めた2つのホールの舞台裏が完全に分離できるよう設計されております。また、運営主体となる指定管理者の選定に当たり、十分なスタッフの確保を求めてまいります。  |
| 63  | その他    | トイレは、幕間の休憩時間に耐えることができるか  | これまでの県民会館及び秋田市文化会館のトイレの状況を踏まえ、十分な数を設置する計画としております。  |
| 64  | その他    | 舞台設備、使用器具、備品の充実について、幕、ドロップ幕、敷物、リノリウムなど、会館としての常時備品を希望する。  | 備品計画については、今後、検討いたしますが、新しい施設がその機能を十分に発揮できるよう設備・備品の選定を行ってまいります。  |
| 65  | 貸館事業計画 | 料金は、高いと利用したくても使えません。   | 利用料金については、受益者負担の考え方を基本とし、これまでの料金や全国の類似施設の料金体系等を勘案しながら設定することとしておりますが、県民の方が利用しやすい料金となるよう検討してまいります。   |